

I. 霊人体の感性の育成について  
 地上で神の愛を体恤  
 → 霊人体もそれを体恤  
**《肉身との相対的關係で》**

自律神経系の特徴

1. 現実と想像の区別をしない  
 想像・イメージで喜ぶのと、  
 実体として喜ぶのとで差異は  
 ない（喜怒哀楽）
2. 時間や空間の次元の区別をしない  
 霊界は時空を超越
3. 人称を解さない  
 本人の感性が霊人体に影響  
 （水の結晶の話）

自律神経とは？

自律神経とは、心臓を動かしたり汗をかいたり、自分ではコントロールできない自動的に働く神経のこと。

活動する神経『交感神経』



休息する神経『副交感神経』

自律神経は活動する神経といわれる『交感神経』と、休む神経といわれる『副交感神経』の二つに分類され、必要に応じて自動的に切りかわって働くようになっています。眠れない、めまいがする・・・など様々な症状が自律神経の働きに関係しています。

・精神的調整



悲しいと涙が出る、驚くと心臓がドキドキするなど、精神的な変化から身体の反応としてあらわす働き

・神経の調整

外部の気温が上がっても体温が一定に保たれるなど、外部から刺激を受けても身体を一定の状態に調整する(=ホメオスタシス)



・内分泌の調整

ホルモン分泌とも密接に関係。女性に自律神経失調症が多くみられるのは排卵・月経・妊娠・更年期等の性周期がホルモンと深く関係しているため

・免疫の調整

体内に細菌やウイルスが侵入すると抵抗力をつけたり、発熱した場合に熱を下げようするなど、病気の予防や治癒のための働き



<http://www.azegami.com/jiritu/>より

怯え、恐れ、恨み、妬み、不安、憎しみ、怒り、不平、不満、悪口、批判、裁き、不信 etc

全部、自分に  
跳ね返ってくる

◎為に生きる

① 愛の原因は相手（対象）

私が愛を体恤するには、私以上に相手（対象）が大切  
 ∴相手（対象）の為に生きるべし

② 心がけ（祈り）

- ・他人の幸せを、豊かな気持ちで祝福  
 =自分への祝福を意味
- ・他人の成功は自分の成功、他人の幸福は、自分の幸福と思うべし

③ 感謝

心情の世界は、物をもって通じるものではありません。心で通じるものです。いつも感謝する心で、目上の方が悲しい時、共に悲しむことができ、うれしい時、共に喜ぶことのできる因縁をもって通じるのです。そのように生きる人間に神様が共におられるのです。